

## 2 届出排出量及び移動量の状況

### (1) 届出状況（別紙2及び別紙3参照）

令和4年度には、令和3年度に県内の事業者が把握した排出量及び移動量について、1,222事業所から届出がありました。

業種別及び市町村別の届出状況は、次のとおりです。

表3 業種別の届出状況

業種名	届出事業所数	届出物種別数	業種名	届出事業所数	届出物種別数
食料品製造業	4	6	医療用機械器具・医療用品製造業	4	4
飲料・たばこ・飼料製造業	2	4	その他の製造業	2	3
酒類製造業	1	1	電気業	6	6
衣服・その他の繊維製品製造業	1	4	ガス業	1	3
家具・装備品製造業	2	7	熱供給業	1	2
パルプ・紙・紙加工品製造業	8	4	下水道業	42	34
出版・印刷・同関連産業	11	11	鉄道業	2	4
化学工業	130	178	倉庫業	7	25
医薬品製造業	8	11	石油卸売業	15	8
農薬製造業	2	4	燃料小売業	535	8
石油製品・石炭製品製造業	22	46	洗濯業	8	4
プラスチック製品製造業	26	25	自動車整備業	12	7
ゴム製品製造業	9	33	機械修理業	1	3
窯業・土石製品製造業	14	21	計量証明業	3	2
鉄鋼業	10	31	一般廃棄物処理業（ごみ処分量に限る。）	45	34
非鉄金属製造業	22	32	産業廃棄物処分量	11	35
金属製品製造業	63	30	特別管理産業廃棄物処分量	1	31
一般機械器具製造業	37	25	医療業	2	2
電気機械器具製造業	50	32	高等教育機関	8	7
輸送用機械器具製造業	58	38	自然科学研究所	22	12
鉄道車両・同部分品製造業	4	6	合計	1,222	217※
船舶製造・修理業、船用機関製造業	7	11	※同一物質を複数の業種に計上した場合については、一物質として計上しています。		
精密機械器具製造業	3	5			

表4 市町村別の届出状況

市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数
横浜市	357	逗子市	2	綾瀬市	24	開成町	5
川崎市	178	三浦市	8	葉山町	6	箱根町	7
相模原市	102	秦野市	41	寒川町	20	真鶴町	0
横須賀市	44	厚木市	54	大磯町	4	湯河原町	2
平塚市	69	大和市	35	二宮町	2	愛川町	21
鎌倉市	16	伊勢原市	26	中井町	4	清川村	1
藤沢市	57	海老名市	24	大井町	8	合計	1,222
小田原市	43	座間市	19	松田町	0		
茅ヶ崎市	22	南足柄市	15	山北町	6		

## (2) 届出排出量・移動量の集計結果

### ア 全物質の届出排出量・移動量

事業所から届出のあった総届出排出量・移動量は県全体で 11,877 トンであり、その内訳は、総届出排出量 4,610 トン、総届出移動量 7,267 トンでした。

総届出排出量の内訳は、大気への排出 4,354 トン、公共用水域への排出 256 トン、土壌への排出及び事業所内での埋立処分はありませんでした。

また、総届出移動量の内訳は、事業所外への廃棄物としての移動 7,252 トン、下水道への移動 15 トンでした。

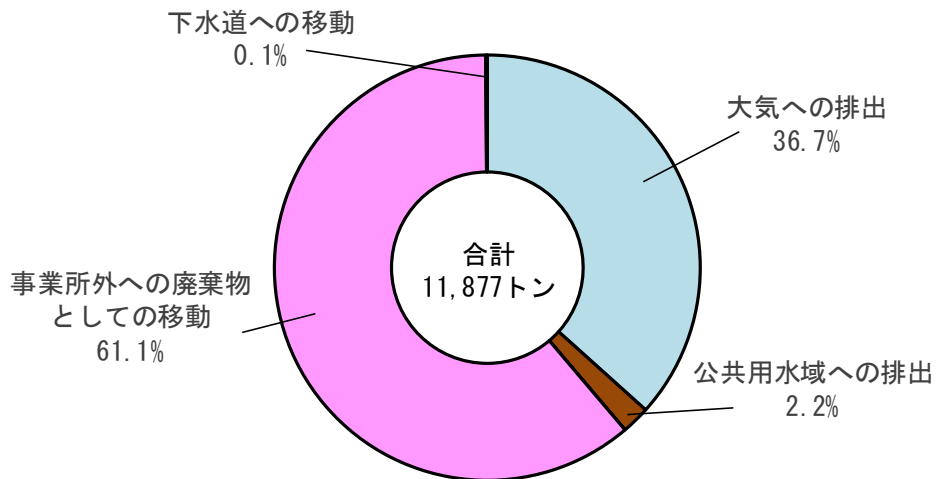


図1 総届出排出量・移動量

### イ 届出排出量・移動量の状況

届出排出量・移動量の上位 10 物質の合計量は 8,988 トンで、総届出排出量・移動量 11,877 トンの 75.7%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

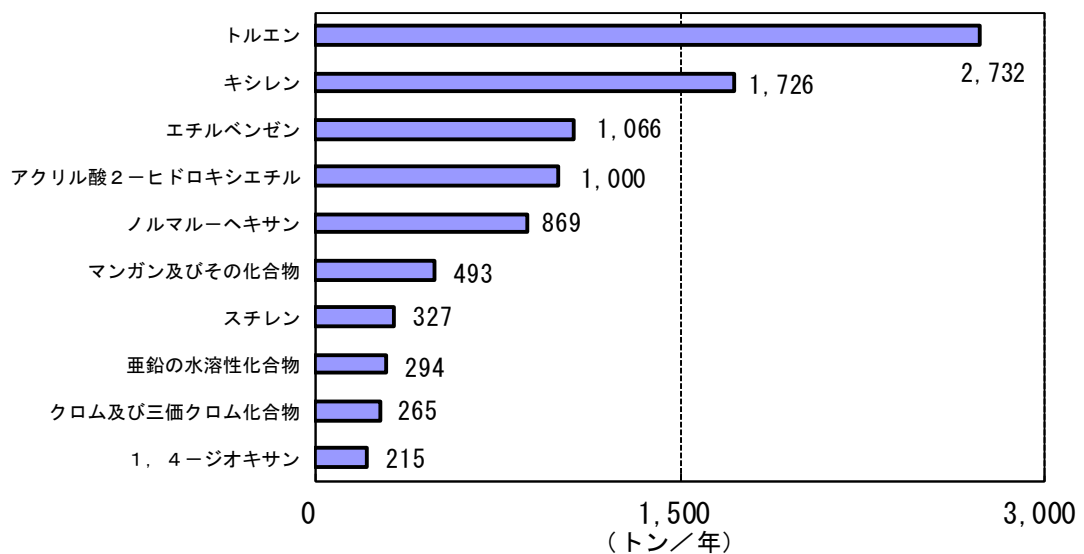


図2 届出排出量・移動量上位 10 物質

### ウ 届出排出量の状況

届出排出量の上位 10 物質の合計量は 4,186 トンで、総届出排出量 4,610 トンの 90.8%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

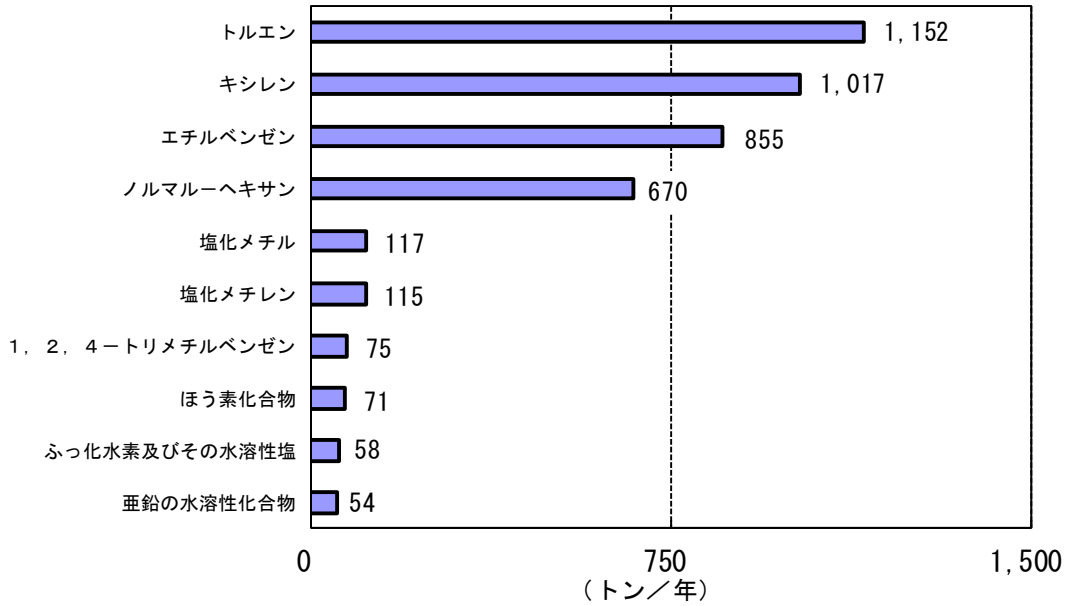


図 3 届出排出量上位 10 物質

### エ 届出移動量の状況

届出移動量の上位 10 物質の合計量は 5,177 トンで、総届出移動量 7,267 トンの 71.2%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

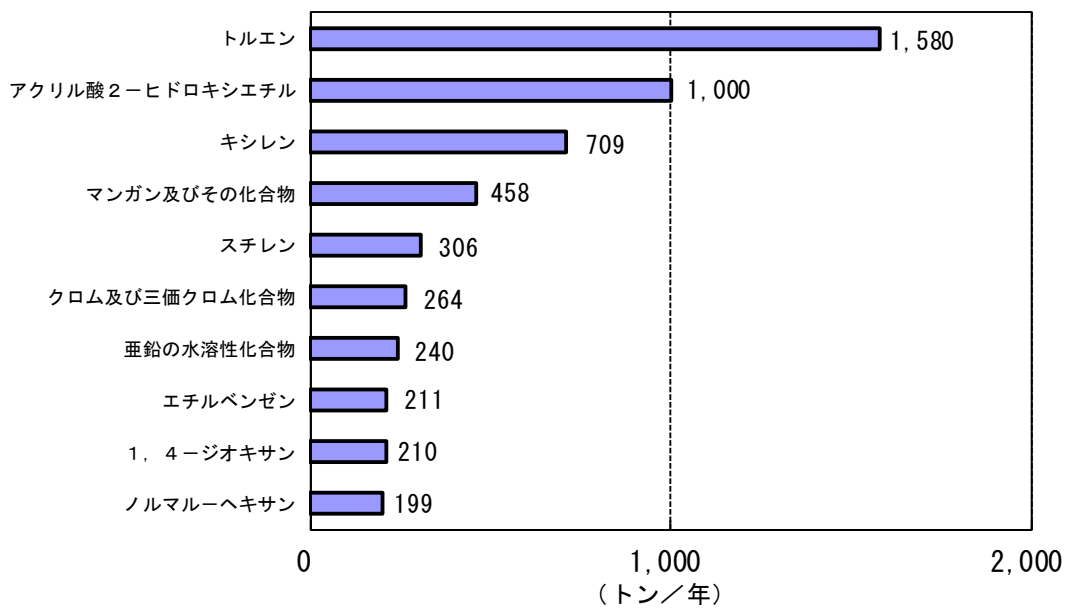


図 4 届出移動量上位 10 物質

## オ 届出排出量の排出先ごとの状況

### (ア) 大気への排出状況

大気への排出量の上位 10 物質の合計量は 4,129 トンで、大気への排出量全体 4,354 トンの 94.8 %に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

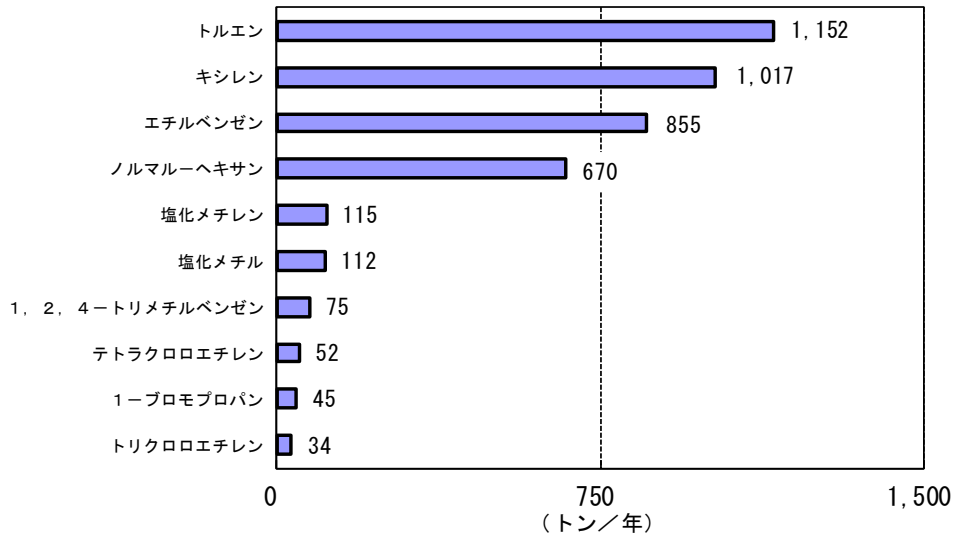


図5 大気への排出量上位 10 物質

### (イ) 公共用水域への排出状況

公共用水域への排出量の上位 10 物質の合計量は 246 トンで、公共用水域への排出量全体 256 トンの 96.0%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

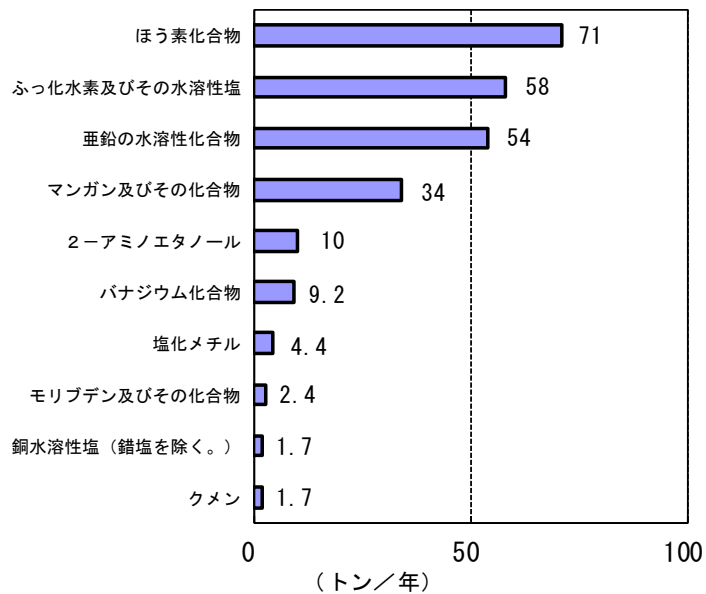


図6 公共用水域への排出量上位 10 物質

### (ウ) 土壌への排出状況

土壌への排出を行ったという届出はありませんでした。

### (イ) 事業所における埋立処分の状況

事業所内で埋立処分を行ったという届出はありませんでした。

## カ 届出移動量の移動先ごとの状況

### (ア) 廃棄物としての移動量

廃棄物としての移動量の上位 10 物質の合計量は 5,175 トンで、廃棄物としての移動量全体 7,252 トンの 71.4%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

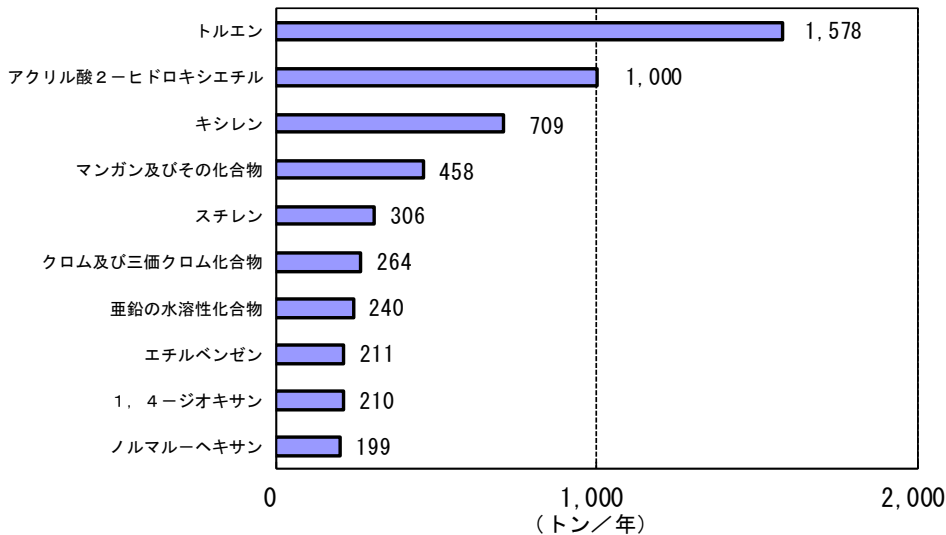


図7 廃棄物としての移動量上位10物質

### (イ) 下水道への移動量

下水道への移動量の上位 10 物質の合計量 13 トンで、下水道への移動量全体 15 トンの 86.8%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

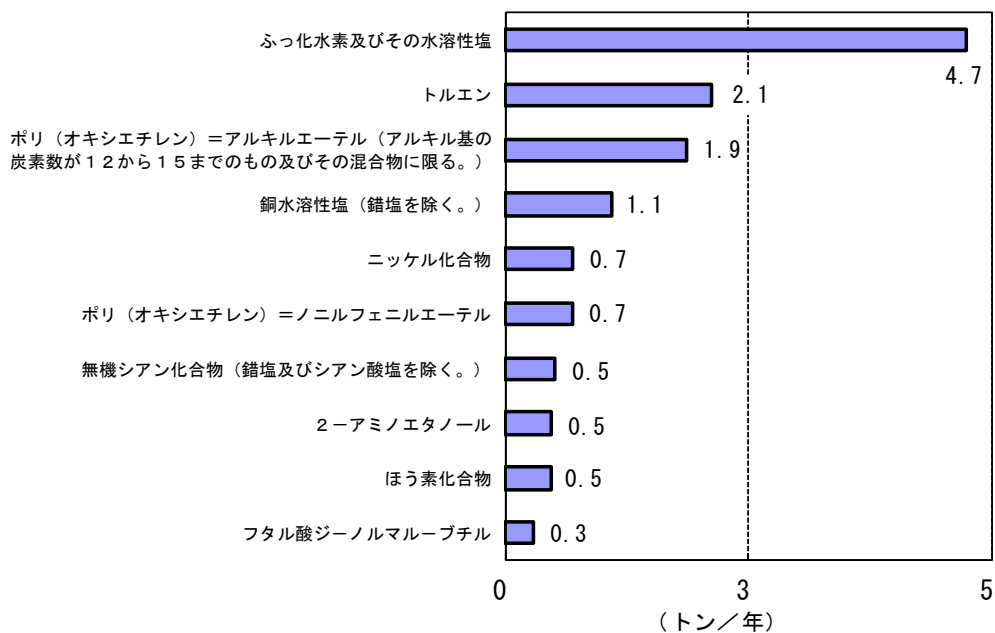


図8 下水道への移動量上位10物質

## キ 業種別の届出排出量・移動量の状況

### (7) 届出排出量・移動量

届出排出量・移動量の上位 10 業種の合計量は 10,414 トンで、総届出排出量・移動量 11,877 トンの 87.7%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

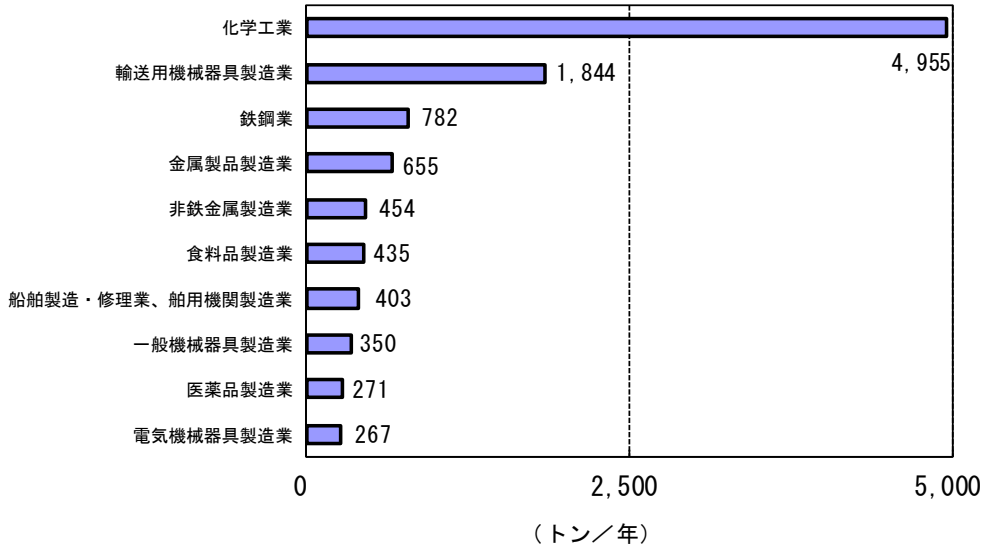


図 9 届出排出量・移動量上位 10 業種

### (イ) 届出排出量

届出排出量の上位 10 業種の合計量は 4,118 トンで、総届出排出量 4,610 トンの 89.3%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

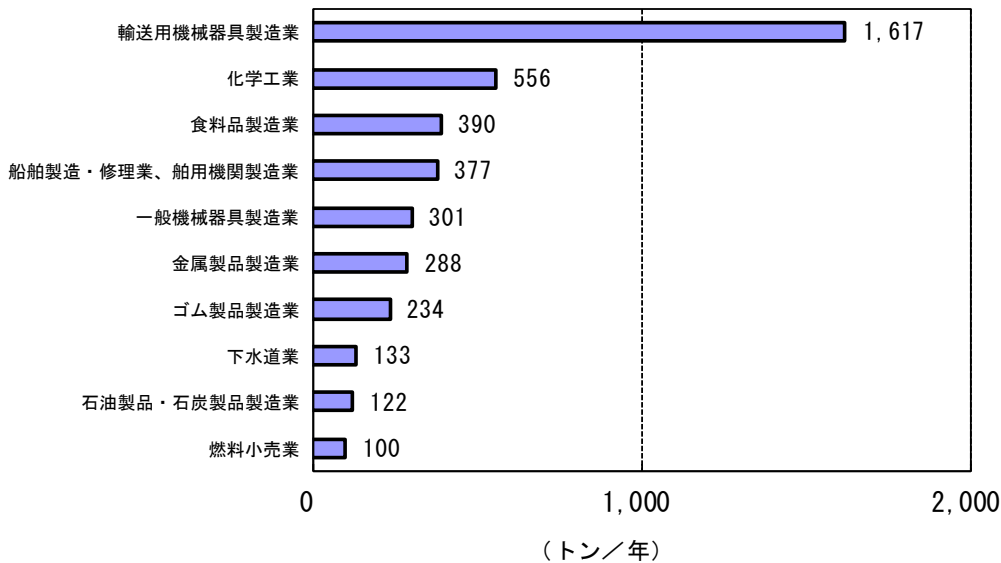


図 10 届出排出量上位 10 業種

(ウ) 届出移動量

届出移動量の上位 10 業種の合計量は 6,870 トンで、総届出移動量 7,267 トンの 94.5%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

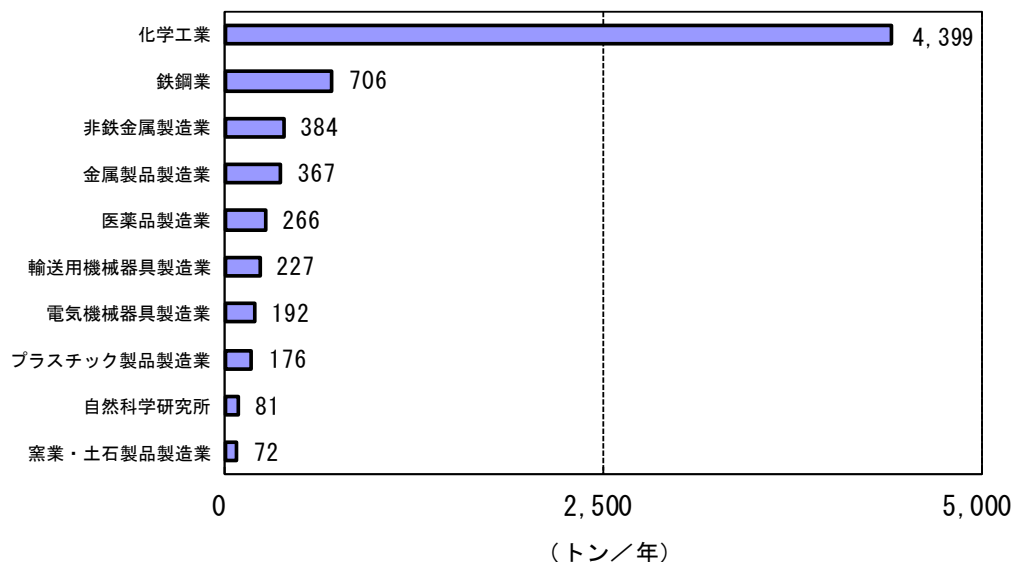


図 1 1 届出移動量上位 10 業種

ク 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量の状況

化管法で定められている人に対して発がん性のある特定第一種指定化学物質 15 物質のうち、本県では次のとおり 12 物質について排出等がありました。

表 5 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量

(kg/年 (ダイオキシン類はmg-TEQ/年))

対象化学物質	届出排出量					届出移動量			合計
	大気	公共用水域	土壌	埋立	小計	廃棄物	下水道	小計	
石綿	0	0	0	0	0	7,760	0	7,760	7,760
エチレンオキッド	5,375	0	0	0	5,375	170	0	170	5,545
カドミウム及びその化合物	0	4	0	0	4	17	0	17	21
六価クロム化合物	0	62	0	0	62	3,175	123	3,298	3,360
塩化ビニル	6,000	2	0	0	6,002	0	0	0	6,002
鉛化合物	66	13	0	0	78	59,684	2	59,686	59,764
ニッケル化合物	4	1,618	0	0	1,622	77,655	689	78,344	79,965
砒素及びその無機化合物	9	144	0	0	153	1,322	1	1,323	1,476
1,3-ブタジエン	16,110	120	0	0	16,230	341	0	341	16,571
2-プロモプロパン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベリリウム及びその化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンジリジン=トリクロリド	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンゼン	32,435	82	0	0	32,518	244	0	244	32,762
ホルムアルデヒド	9,273	423	0	0	9,696	39,471	149	39,620	49,316
合計	69,272	2,468	0	0	71,740	189,839	964	190,803	262,542
ダイオキシン類	629	25	0	0	654	75,568	1	75,569	76,223

※ダイオキシン類の届出排出量・移動量の単位は、重量 (kg) ではなく、毒性等量 (mg-TEQ) のため、集計の合計値から除いています。